



大阪府立弥生文化博物館 平成 22 年度冬季企画展

続・発掘へんろ

ー四国の弥生時代ー

『続・発掘へんろ』展は、四国内の埋蔵文化財センター 5 団体が合同で発掘出土品の巡回展を開催し、四国の古代史や埋蔵文化財の重要性を知っていただくとするもので、平成 21 年度から 5 ヶ年計画で四国の歴史を時代ごとに紹介します。2 回目となる今年度は弥生時代の石器や土器から 4 県の地域性や交流を探ります。

今回、大阪会場となった当大阪府立弥生文化博物館では、普段はなかなかみられない四国の資料をご紹介しますと同時に、大阪にもたらされた資料も展示し、四国と近畿の「海の道」についても考えられる展示にしました。

約 2,000 年前の人びとの活発な活動に思いをはせていただければと思います。(展示品約 200 点)

会 期 平成 23 年 1 月 22 日 (土) ～ 3 月 21 日 (月祝)

主 催 大阪府立弥生文化博物館・四国地区埋蔵文化財センター巡回展実行委員会

財団法人愛媛県埋蔵文化財調査センター
財団法人松山市文化・スポーツ振興財団
香川県埋蔵文化財センター
公益財団法人徳島県埋蔵文化財センター
財団法人高知県文化財団埋蔵文化財センター

後 援 全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会、全国埋蔵文化財法人連絡協議会
和泉市、和泉市教育委員会、泉大津市、泉大津市教育委員会

会 場 大阪府立弥生文化博物館 特別展示室 (約 232 m²)

和泉市池上町 4-8-27 TEL. 0725-46-2162

<http://www.kanku-city.or.jp/yayoi/>

開館時間 午前 9 時 30 分～午後 5 時 (入館は午後 4 時 30 分まで)

休 館 日 毎週月曜日 (ただし 3 月 21 日は開館)

入 館 料 一般 400 円 / 65 歳以上・高大生 300 円 (20 名様以上の団体は 2 割引)

※中学生以下・障がい者手帳をお持ちのかたとその介助者 1 名は無料

アクセス J R 阪和線「信太山 (しのだやま)」駅下車 西へ約 600m

南海本線「松ノ浜」駅下車 東へ約 1,500m

国道 26 号線「池上町」交差点南西角 P : 普通車 72 台・大型バス 7 台 (無料)

関連事業

(1) 調査成果報告会

第 1 回 2 月 5 日 (土)

『西部瀬戸内の弥生社会ー铸造鉄器と対外交流の諸相ー』

愛媛県埋蔵文化財調査センター 柴田昌児 氏

『弥生時代の大集落ー旧練兵場遺跡の発掘調査ー』

香川県埋蔵文化財センター 文化財専門員 信里芳紀 氏

第2回 2月12日(土)

『太平洋に面した大形弥生集落—田村遺跡群の調査成果から—』

財団法人高知県文化財団埋蔵文化財センター 主任調査員 久家隆芳 氏

『土器に見る四国と大阪の交流』

財団法人大阪府文化財センター 市村慎太郎 氏

第3回 3月5日(土)

『四国の地域色—土器・石器・祭祀—』

財団法人松山市文化・スポーツ振興財団 主任学芸員 梅木謙一 氏

『徳島市眉山周辺の弥生遺跡群—矢野遺跡を中心に最新の調査成果から—』

公益財団法人徳島県埋蔵文化財センター 整理係長 近藤玲 氏

場 所：大阪府立弥生文化博物館 1階ホール

時 間：午後2時～4時

聴講料：無料(要入館料)

定 員：170名(当日先着順 午後0時30分から整理券配布・午後1時30分から受付)

(2) 学芸員による展示解説

1月22日(土) / 2月5日(土) / 2月12日(土) / 3月5日(土) / 3月21日(月祝)

時 間：いずれも午前11時～

(3) ワークショップ

3月13日(日)「ふんどうくんを作ろう」

今回の展示でも存在感たっぷりの分銅形土製品ふんどうがたどまひんをモデルに、自分だけの「ふんどうくん」をつくりましょう。当日は、松山市考古館のキャラクター「ふんどうくん」もやってきます。

時 間：午後2時～午後3時30分

参加費：無料(要入館料)

定 員：170名(当日先着順)

対 象：どなたでも



展示構成

プロローグ 四国の弥生時代

第一章 四国の遺跡(速報展)

第二章 四国と大阪の弥生時代

第1節 石器と石材

第2節 各地の弥生土器とその違い

第3節 人のかたち、顔のかたち

第三章 広域での交流

第1節 土器の移動

第2節 朱—まつり

第3節 鉄と青銅

第4節 青銅のまつり